

# 我が社における自主保安活動シリーズ

## (第34回)

高圧ガス保安経済産業大臣・高圧ガス保安協会会長表彰を受賞された組織（優良製造所および優良販売業者）は、長年にわたる保安啓発と自主的な保安活動への取組みを積極的に行っております。

そこで、受賞組織に高圧ガス災害の防止など自主保安の維持向上に努めている活動を執筆していただいております。

高圧ガスの製造所および販売事業所で保安に関わる方々には大いに参考になるものと期待しています。2019年1月号（Vol. 56 No. 1）から連載を開始し、10月号では、「JFE コンテナ（株）高圧ガス容器事業部における保安上の取組み（優良販売業者）」として、同社高圧ガス容器事業部 鈴木克典様に、特徴ある自主保安活動および人材育成、今後の抱負などについてご紹介いただきました。

本稿が会員等諸氏のご参考になれば幸いです。

### 我が社における自主保安活動シリーズの掲載号

- 第1回 我が社の保安安全活動（優良製造所編）（株）サイサンガステクノ 横山義巳 Vol.56 No.1
- 第1回 保安レベルの維持向上への取組み（優良販売業者編）（株）サンワ 田部井普 Vol.56 No.1
- 第2回 我が社における保安管理活動（優良製造所編）上毛天然瓦斯工業（株） 平石 誠 Vol.56 No.2
- 第2回 保安レベルの維持向上への取組み（優良販売業者編） 紀伊国屋高圧（株） 若林比呂之 Vol.56 No.2
- 第3回 保安レベルの維持向上への取組みについて（優良製造所編）（株）クレハ 小野佐市 Vol.56 No.3
- 第3回 我が社における保安管理活動（優良販売業者編）（株）須山液化ガス 須山光男 Vol.56 No.3
- 第4回 我が社における保安管理活動（優良製造所編） 雪印メグミルク（株） 田中秀和 Vol.56 No.4
- 第4回 我が社における保安管理活動（優良販売業者編） 十文字ガス（株） 小関史郎 Vol.56 No.4
- 第5回 我が社における保安管理活動（優良製造所編）（株）ネリキ 新柁裕之 Vol.56 No.5
- 第5回 我が社における保安管理活動（優良販売業者編）（株）西條プロパン 辻田 隆 Vol.56 No.5
- 第6回 高圧ガス容器製造事業所における自主保安活動の取組み（優良製造所編）（株）関東高圧容器製作所 瀧澤史朗 Vol.56 No.6
- 第6回 我が社における保安活動（優良販売業者編） 昭和電工ガスプロダクツ（株） 岡崎 徹 Vol.56 No.6
- 第7回 我が社における災害への取組み（優良製造所編） 江藤酸素（株） 日下明宏 Vol.56 No.7
- 第7回 我が社における保安管理活動（優良販売業者編）（株）星医療酸器 鈴木省悟 Vol.56 No.7
- 第8回 我が社における自主保安活動（優良製造所編）（株）加地テック 上田伊佐三 Vol.56 No.8
- 第8回 我が社における保安活動（優良販売業者編）（株）巴商会 小澤 正 Vol.56 No.8
- 第9回 保安レベルの維持向上への取組み（優良製造所編）九州エア・ウォーター（株） 東 成政 Vol.56 No.9
- 第9回 我が社における自主保安活動（優良販売業者編） 東海溶材（株） 松下勝実 Vol.56 No.9
- 第10回 我が社における自主保安活動（優良製造所編）—保安レベルの維持向上への取組み—  
近畿酸素（株） 前川俊也 Vol.56 No.10
- 第10回 我が社における自主保安活動（優良販売業者編） 岩谷産業（株） 飯田 宏 Vol.56 No.10
- 第11回 我が社における保安管理活動（優良製造所編） サントリープロダクツ（株） 成田光臣 Vol.56 No.11
- 第11回 保安レベルの維持向上への取組み（優良販売業者編） 富士瓦斯（株） 津田維一 Vol.56 No.11
- 第12回 我が社における自主保安活動（優良製造所編） 理研計器（株） 友松一誠 Vol.56 No.12
- 第12回 保安レベルの維持向上への取組み（優良販売業者編） 松江ガス供給（株） 曾田 悟 Vol.56 No.12

## 我が社における自主保安活動シリーズの掲載号（続き）

- 第13回 保安レベルの維持向上への取組み（優良製造所編）（株）トーエル 室越義和 Vol.57 No.1
- 第13回 我が社における自主保安活動（優良販売業者編）（株）北国産業 西野稔彦 Vol.57 No.1
- 第14回 我が社における保安管理活動（優良製造所編）日野自動車(株) 清水 明 Vol.57 No.2
- 第14回 保安レベルの維持向上への取組み（優良販売業者編）岡安産業(株) 岡安啓右 Vol.57 No.2
- 第15回 我が社における保安管理活動（優良製造所編）エア・ケミカルズ(株) 中込正樹 Vol.57 No.3
- 第15回 営業所における自主保安活動への取組み（優良販売業者編）東横化学(株) 若林孝幸 Vol.57 No.3
- 第16回 我が社における保安管理活動（優良製造所編）新相模酸素(株) 渡邊 勲 Vol.57 No.4
- 第16回 自主保安活動への取組み（優良販売業者編）（株）ガス研 加藤隆治 Vol.57 No.4
- 第17回 保安レベルの維持向上への取組み（優良製造所編）（株）サン・ペトロケミカル 河野守弘 Vol.57 No.5
- 第17回 我が社における保安管理活動（優良販売業者編）広島ガス三原販売(株) 重安浩司 Vol.57 No.5
- 第18回 保安レベルの維持向上への取組み（優良製造所編）（株）合同資源 大谷康彦 Vol.57 No.6
- 第18回 保安レベルの維持向上への取組み（優良販売業者編）（株）ガスバル東北 伊藤 忠 Vol.57 No.6
- 第19回 我が社の保安における取組みについて（優良製造所編）サカキ産業(株) 宮林亮輔 Vol.57 No.7
- 第19回 「安全」と「安心」の追及を使命として（優良販売業者編）（株）田沼酸素商会 田沼秀樹 Vol.57 No.7
- 第20回 我が社の自主保安活動への取組み（優良製造所編）サンケミカル(株) 加々良靖之 Vol.57 No.8
- 第20回 我が社における自主保安活動の歩み（優良販売業者編）東洋プロパン瓦斯(株) 後藤拓郎 Vol.57 No.8
- 第21回 我が社における保安管理活動（優良製造所編）徳山積水工業(株) 江口吉彦 Vol.57 No.9
- 第21回 我が社における自主保安活動（優良販売業者編）和田プロパン(株) 和田直樹 Vol.57 No.9
- 第22回 自主保安活動の取組み（優良製造所編）日本エイアンドエル(株) 池田高宏 Vol.57 No.10
- 第22回 我が社における保安管理活動（優良販売業者編）(有)エナジー安田 安田光孝 Vol.57 No.10
- 第23回 保安レベルの維持向上への取組み（優良製造所編）（株）関西ガスファースト 横山 亮 Vol.57 No.11
- 第23回 保安レベルの維持向上への取組み（優良販売業者編）トモプロ(株) 高橋隆史 Vol.57 No.11
- 第24回 保安レベルの維持向上への取組み（優良製造所編）伊丹産業(株) 志水賢二 Vol.57 No.12
- 第24回 我が社における保安活動の取組み（優良販売業者編）北酸(株) 早垣紀夫 Vol.57 No.12
- 第25回 我が社における自主保安活動（優良製造所編）日本ゼオン(株) 近藤勝仁 Vol.58 No.1
- 第26回 保安レベルの維持向上への取組み（優良販売業者）（株）松谷角蔵商店 松谷厚雄 Vol.58 No.2
- 第27回 全員参加による環境保安活動の継続と取組みの強化（優良製造所）日信化学(株) 蒲 祐二 Vol.58 No.3
- 第28回 保安レベルの維持向上への取組み（優良販売業者）白老ガス(株) 前田智宏 Vol.58 No.4
- 第29回 我が社における保安管理活動（優良製造所）（株）UACJ 高野博昭 Vol.58 No.5
- 第30回 大きく変化する製造業・医療現場での保安活動への取組み（優良販売業者）エイフク(株) 益田和幸 Vol.58 No.6
- 第31回 我が社における保安管理活動（優良製造所）沼津酸素工業(株) 仲田敏道 Vol.58 No.7
- 第32回 当社における保安・保全活動への取組み（優良製造所）日垂化学工業(株) 武市喜明 Vol.58 No.8
- 第33回 わが社における自主保安活動（優良販売業者）高野ガス(株) 高野幹也 Vol.58 No.9

# JFEコンテイナー(株)高圧ガス容器事業本部における保安上の取組み(優良販売業者)



JFEコンテイナー株式会社 高圧ガス容器事業本部 技術・製造部 部長

鈴木 克典

## 1 はじめに

JFEコンテイナー株式会社(以下、「当社」という)は、2003年に川鉄コンテイナー(株)と鋼管ドラム(株)の合併により発足、高品質のドラム缶と高圧ガス容器を製造販売する容器専門メーカーである。

高圧ガス容器事業においては、営業、技術開発、工場、品質保証の各部門が有機的に連動することで、市場ニーズの取り込み、設計開発、認証取得、量産販売まで一貫通貫で対応することにより、顧客ニーズに柔軟かつタイムリーに応えられる体制が特徴である。

## 2 高圧ガス容器事業本部の沿革

- 1984年 日本鋼管(株)技術研究所がガラス繊維FRP容器の開発に着手
- 1991年 日本ではじめて天然ガス自動車搭載用ガラスFRP容器の通産省大臣特認を取得
- 1994年 日本鋼管(株)が鋼管ドラム(株)に高圧ガス容器事業を移管、鋼管ドラム(株)においてガラス繊維FRP容器の製造開始
- 1997年 ガス容器工場を川崎市に建設
- 1999年 カーボン繊維FRP容器、FCV車載

容器の輸入販売開始

- 2001年 医療用酸素容器の本格製造販売開始
- 2003年 鋼管ドラム(株)が川鉄コンテイナー(株)と合併、JFEコンテイナー(株)に社名変更
- 2016年 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)事業で水素ステーション用タイプ2容器開発
- 2020年 JFEスチール(株)と共同で、水素ステーション用タイプ1容器の製造販売開始

## 3 表彰履歴

- 2015年 神奈川県高圧ガス優良製造所表彰
- 2020年 高圧ガス保安関東東北産業保安監督部長表彰 優良製造所

## 4 当社の保安活動の特徴

“完全無災害の維持”を合言葉として、保安最優先を掲げて活動に取り組んでいる。当社の保安活動の特徴について、紹介させていただく。

### (1) 基本に忠実、愚直に実践

具体的な活動テーマは、昨年実績や社会情

勢等を鑑み毎年見直すが、不変なのは、“基本に従って忠実に、愚直に実践継続する”，ということであり、当社保安活動の大原則である。

まず，“ルール厳守”ありきで、高圧ガス保安法および労働安全衛生法等、各種の法的要求事項に則った活動がベースを成している。当然、社内ルールである、作業標準や設備基準、防災、環境等の内規にも従うことが要求される。

一方で、淡々と決められたことを実施するだけでなく、法やルールの精神をくみ取って、“なぜそれが要求されるのか”，背景を十分理解させるよう心掛けています。現状の活動の意味を理解することで、保安活動の問題点を指摘できたり、新規提案が生まれると考えています。

## (2) 他業種からの視点

日常の保安活動は、高圧ガス設備の点検、整備、操業監視、定期自主検査、保安検査、自主保安活動として展開される。

特徴のある自主保安活動としては、重層的に実施される定期パトロールが挙げられる。

定期パトロールは、同一敷地内で隣接するドラム缶工場と一体となって実施している点がユニークと考えています。パトロール結果、問題点フォロー、相互監視をドラム缶工場と共同実施することで、客観的な視点が入り、議論がより深まる。結果的に、自己中心的な結論に陥ることを回避できる。このような、異なった工業製品を製造する部門からの指摘を常時得られるのは大きな強みである。

さらに、本社の安全防災の専門家による定期パトロールも実施される。組織体制、保安活動マネジメント、設備関連、人材教育、標

準管理、非定常作業手順等、保安体制全般の監査が成される。同時に法令改正等の全体整合性も細かくチェックされるので、自己管理している法令遵守項目の抜け防止機能を果たしている。

その他、JFEグループ内の自主活動情報も逐次共有化できることも、大変意義深い。具体的な他社事例を参考にしながら、対話型パトロールに切り換えるなどして、習慣化しやすい定期パトロールに刺激を与えるよう工夫している。

## (3) 保安力の高い人材育成

当社では、高圧ガス保安責任者免状の取得を、管理者、現場作業者問わず、全社員に義務づけている。したがって、現場作業者においては、ほぼ毎年のペースで、受検者に対して高圧ガスの全般教育を施している。先輩社員が教育を施すという仕組みを採用しており、高圧ガスの保安技術や法を、ある程度まとまった知識として得られる貴重な機会となっている。同時に教育する側も、高圧ガス知識の理解がより深まるというメリットがある。このような教育システムにより、近年では高圧ガス保安責任者の合格者を安定的に輩出することができている。

そのほか、各種の資格取得に関しても、幅広く、かつ計画的に行っている。新たな資格を得て、新たな作業に対応できる、という事が作業者の緊張感を保持する上で果たす役割は大きい。またスキルアップを自覚することで、仕事のモチベーションが上がる効果も期待できる。

## (4) 5Sの重要性

5S活動は、重点活動テーマとして必ず毎

年ピックアップしている。5Sは製造業の基本であり、すなわち保安の基礎、という考え方である。5Sなくして製造なし、という合言葉で、職場の環境維持に努めている。お客様の見学機会も多いので、自分で満足する美観向上レベルではなく、さらに一歩進めたレベルを目指すべく、日々清掃活動を推進している。5Sを実施し、その上に、ヒヤリハット活動、KY活動、他社事故事例の水平展開、改善活動といった現場の活動を積み上げることで、現場の自律的な保安力向上を促している。

## 5 今後の抱負

当社の高圧ガス容器事業は、1994年の創設以来、完全無災害を維持している。本年度

27年完全無災害となることは、高圧ガス事業の誇るべき記録と考えている。完全無災害維持の原動力は、安全力の高い、現場作業者の貢献によるところが大きいのが率直な感想である。そうした創設以来の、高度な知識と幅広い経験をもったベテラン社員が、現場を去る年齢にさしかかりつつある。“いかにすみやかに、もれなく保安の技量伝承がなされるか”，が当社の課題となってきた。

一方では、自然災害の脅威も高まる傾向がうかがえ、従来の保安技術で十分であるかどうか、再度見直す時期にきている。

組織の変化や、環境変化等、外部リスクに対して、柔軟に対処できるよう保安体制を随時鍛え上げ、完全無災害を維持していく覚悟である。

鈴木克典（すずき かつのり）

